

# 「WEB 改ざん」の対策。実はコロナ対策にそっくりです。

「マスクしているし、ワクチンも打っている。自分は大丈夫だろう」

コロナ禍のあの頃、多くの人がそう思っていました。実際、マスクやワクチンは感染リスクを大きく下げてくれました。しかし、それで安心しきっていた人も少なくなかったはずです。

ところがある日、職場の同僚が「味が分からないかも」と言い出します。「気のせいだろ」「検査するほどでもないよ」――そう笑っていたのも束の間、数日後、その同僚は陽性判定を受けました。慌てて濃厚接触者を洗い出すと、気づけばフロアの半分近くが対象に。そんな経験をした方も、きっと少なくないと思います。

厄介だったのは、「**自分は大丈夫だろう**」と過信していた人が多かったことです。実際には感染していて、気づかぬうちに家族や同僚にうつしてしまっていた。発覚したときにはもう、身近な人にまで広がってしまっていた――そんな悔しさや不安を、私たちは何度も経験しました。

「あのとき、もっとこまめに体温を測っていたら」「体調の変化に、もう少し敏感になっていたら」

そう振り返った方も、多いのではないのでしょうか。

## 実はこれ、今あなたの WEB サイトにも、同じことが起きているかもしれません。

「ファイアウォールを入れているから」「WAF で防御しているから」「クラウドサーバーだから安全」――そう考えている担当者は多くいます。ですが、それはちょうど「マスクしているし、ワクチンも打っているから大丈夫」という油断と同じかもしれません。防御は、リスクを下げてくれますが、防ぎきることはできないのです。

WEB サイトの改ざんは、水面下で拡大を続けるパターンさえ出ています。サイトは普段通りに表示されているので、担当者も「特に問題ない」と感じたまま日々の業務を続けます。しかしその裏側では、静かにファイルが書き換えられ、訪問者を悪質なサイトへ誘導するコードが埋め込まれている。気づいたときには、すでに多くの訪問者に被害が広がっていた――そんなケースは、決して珍しくないのです。

コロナ禍で、私たちは学びました。「**自分にも起こりうる**」リスクと受けとめ、定期的に調べることに意味がある、ということ。

| コロナ対策          | 意味              | WEB セキュリティで言うと      |
|----------------|-----------------|---------------------|
| マスク・ワクチン       | リスクを下げるが、防ぎきれない | ファイアウォール・WAF        |
| 体温計・パルスオキシメーター | 自覚症状のない異変を数値で検知 | <b>F-PAT（改ざん検知）</b> |
| PCR 検査         | 何に感染したか確定診断する   | フォレンジック調査           |
| 隔離・入院          | 確定後の対応措置        | サーバー停止・復旧対応         |

F-PAT は、まさにこの「体温計」「パルスオキシメーター」の役割を担うサービス。見た目には分からない異変を、日々の監視で検知し、「あれ、なんかおかしい」に、誰よりも早く気づけるようにします。

もちろん、F-PAT 単体で「何が」「どこから」侵入したのかまで特定することはできません。それは PCR 検査にあたる、フォレンジック調査という専門領域です。ですが、コロナ禍の経験が教えてくれた通り、

**まず異変に気づけなければ、その後の対応も始まらない。**

「あのとき、もっと早く気づいていれば」そんな後悔を、今度は WEB サイトで繰り返さないために。

**早期発見こそが、被害を最小限に抑える第一歩。F-PAT サイト改ざん検知をご検討ください。**



**1 カ月無料お試しも可能**です

<https://f-pat.com/>

株式会社フレイバース 担当：平田・植松

TEL：06-4790-7270

